

新富座評判記

特43

886

東京新		函七二	架二	號
圖書部		問	部	類
五二		三		

074850-000-6

特43-886

新富座評判記

永志田 福太郎/編

M11

CEK-0224





國の余光の如く  
 光の如く  
 光の如く  
 光の如く  
 二年級  
 今般回本普請の  
 建築の終成なる

新富の座

御記

編 田原町  
 出 榎本町  
 板 榎本町  
 榎本町  
 榎本町

榎本町

河津波がせきかたせきなり

我々の住む所の地味も

かつかつおの餘風が用い

東の京都朝日かみん

そこのお三都さか

天下のあつちを

中田助孫人かつかつ

おの地味も

地名おの住に

後来の地味も

まひへ

他のおの

おの

里の地味も

地味も

地味も

地味も

地味も

地味も

市川老翁流文

8857

本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

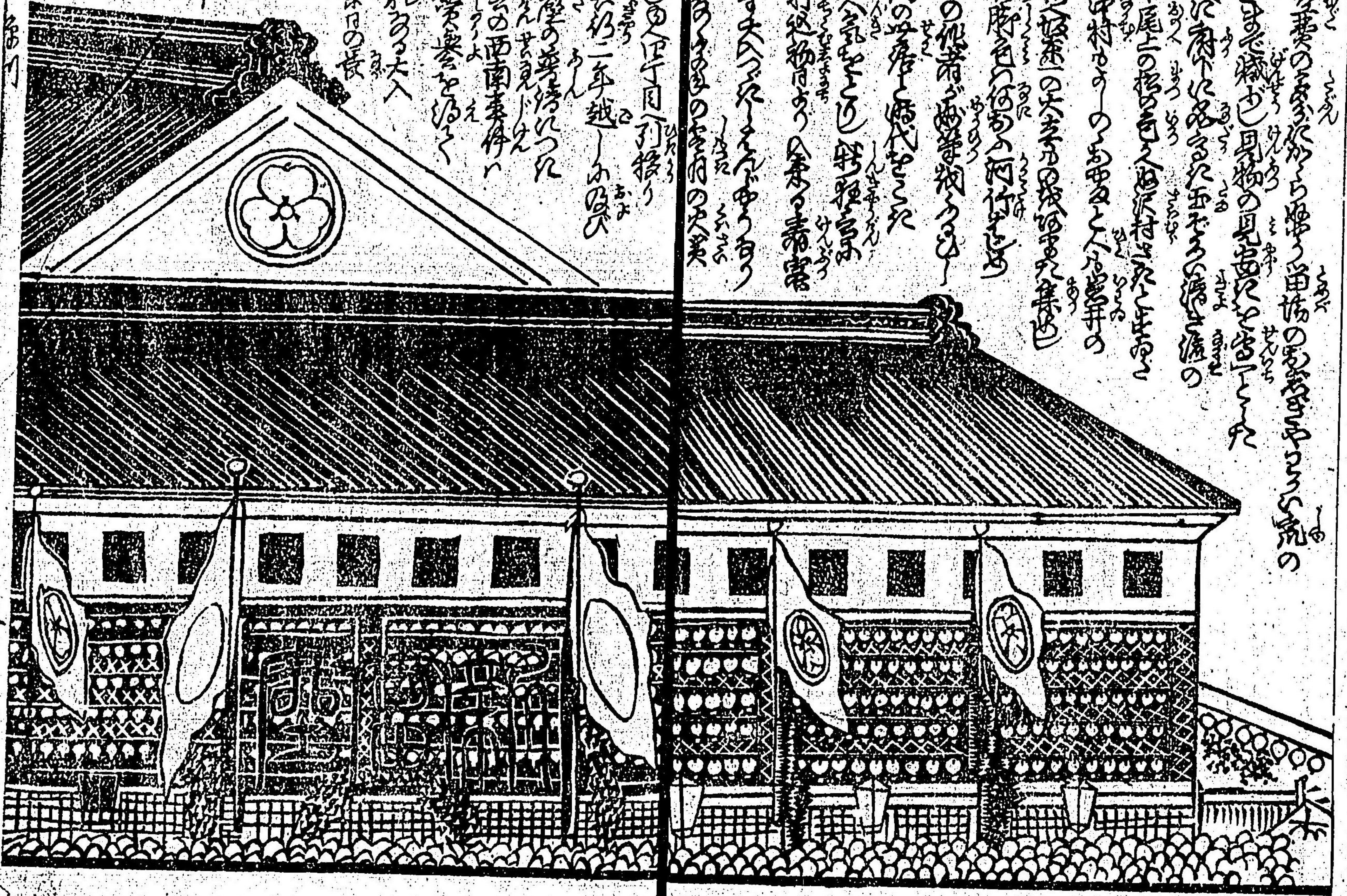
本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

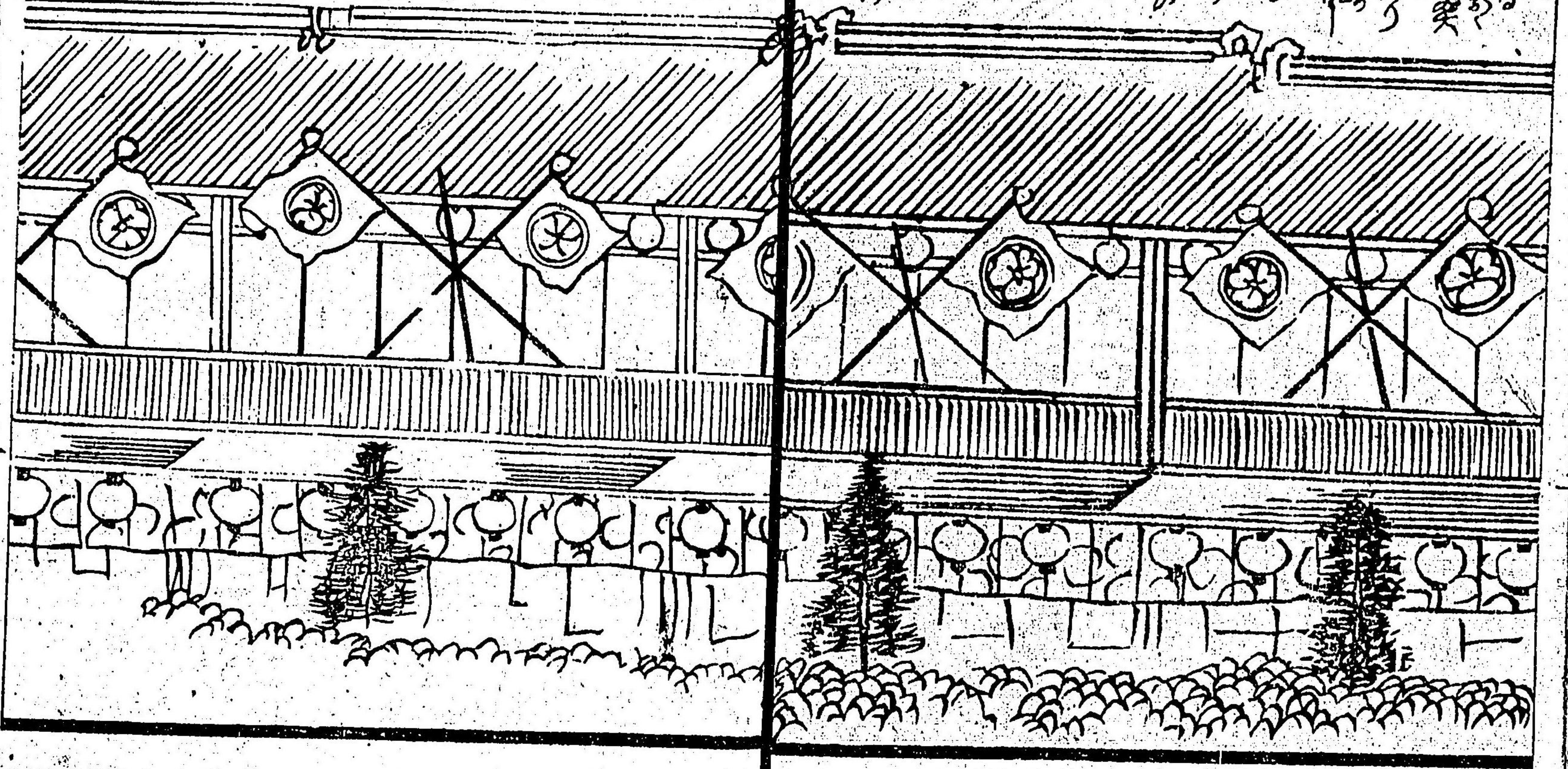


本座の諸君は、皆、  
 誠實な心で、  
 仕事に励んで、  
 本座の発展に  
 力を注いで、  
 共に歩んで、  
 栄えある日を  
 迎えられることを  
 祈ります。

新編 新編 新編 新編  
 大志宗の公間に二十九年間  
 乃十八回之井に大ニ入る  
 その建後屋家の田風を控  
 て清涼は養々のこと見らる

めめであつてもなまぢりあり  
 たたもの産産を役け申妻  
 おくの樹本を極げしつとそ  
 先を七日の西日開業  
 式ありあひ日の東流の劇場の  
 一面より観極に新宮座と  
 録書の二大はひの市ハ方董の  
 書ものつとつと標はせぬ赤

白雲の指行は百廿十人しき行  
 の筆のつれり海海海  
 日野の娘の回毎に言  
 もはつて長等もまはる日素  
 の國旗二本たおるはは  
 ちひひのつれり海海海  
 のつれり海海海  
 ちひひのつれり海海海  
 のつれり海海海  
 ちひひのつれり海海海  
 のつれり海海海  
 ちひひのつれり海海海  
 のつれり海海海







ついでに野の

大花瓶

の

首飾の

挿け

愛の



人の

果ての

後三浦と相

に無事の

海軍の

海軍の

楽隊

の

多岐

の奏

普天の儀  
 瑞雲の舞  
 宮田の舞  
 江戸十景の舞  
 橋小笠原の舞  
 仲美保の舞  
 皆獲の舞  
 席の舞  
 女形の舞  
 の舞  
 とは  
 相模の舞

徳軍の御遊入令  
 奏す  
 期  
 徳軍の  
 御遊入大  
 相模の舞  
 江戸十景の舞  
 橋小笠原の舞  
 仲美保の舞  
 皆獲の舞  
 席の舞  
 女形の舞  
 の舞  
 とは  
 相模の舞



終はては  
 江戸十景の舞  
 橋小笠原の舞  
 仲美保の舞  
 皆獲の舞  
 席の舞  
 女形の舞  
 の舞  
 とは  
 相模の舞

徳軍の御遊入令  
 奏す  
 期  
 徳軍の  
 御遊入大  
 相模の舞  
 江戸十景の舞  
 橋小笠原の舞  
 仲美保の舞  
 皆獲の舞  
 席の舞  
 女形の舞  
 の舞  
 とは  
 相模の舞







七月八日の西園寺義興の御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

御下向の御時

七

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍

又傍





延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て



延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て



延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て

延喜の御代に於て



